

# 令和2年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

のびの木 大船

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			2020.12月に事務室のみ同ビル3Fに移転した為、療育室が広がった。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			利用者の人数に合わせて調整している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関入り口に1箇所のみ段差あり。療育室はバリアフリーである。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月一回の全スタッフミーティングや業務始業時・終了時にミーティングを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果の情報を基に、職員間や本部と話し合い業務改善に取り組んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			スーパーバイザーを取り入れ、定期的に事業所訪問を行い、改善策を相談しながら進めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修・外部研修に参加し、資質向上に努めているが今年度はコロナ感染対策の為、参加出来ていない。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントよりニーズを把握し、職員間でモニタリング・支援会議を行い適切な支援計画を作成している。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者からの立案を職員間で話し合い療育に繋げている。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎週プログラム内容を変え、子どもの状態にあった療育内容を提供している。
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			祭日はお楽しみ療育、長期休みにはイベントを企画し、提供している。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズ、子どものニーズ(状況)に合わせ、活動幅を調整し、計画し提供している。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、朝礼を開き1日の流れや担当療育内容を共通認識している。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有して日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務終了後、個々の記録を作成し振り返りをおこなっている。
	⑯	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的モニタリングを行い、見直しを行っている。
	⑰	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			行っている。
関係機関や保護	⑱	生涯見相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもに関わる適正な人員が参加している。
	⑲	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を行っているか	○			各学校の教員と情報共有し、年間・月間・週間予定を頂き、確認している。
	⑲	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な児童の受け入れは基本的に行っていない。

二者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努	○		必要に応じて行っている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	開所3年目の為、対象者はいない。今後、必要に応じて対応していく。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連携し、助言を受けている。また、のびの木での様子を提供している。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	児童クラブとの関わりはあるが交流会等の参加はない。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		鎌倉・横浜の放連会に積極的に参加している。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		面談や連絡帳、フィードバックを通して共通理解を図っている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		個別に対応している。
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に細かい説明を行っている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談、送迎時、電話などで細かい支援を行っている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会は行っていないがアンケートなどで開催を望む声もあり、今後の課題としていく。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		窓口を設けている。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のお便りやホームページの活動ブログを通し、発信している。また、年2回の発表会では実際に見学していただいている。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	○		厳重に管理している。研修も行っている。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お便りや個別での対応をしている。
非常時等の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	個人情報の観点から行っていない。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	契約時にお渡しし周知している内容もあるがしていない物もある。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回の避難訓練を実施している。非常袋を設置し、定期的に袋の中身を管理をしている。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年数回、研修を行っている。常にミーティングに情報を取り入れている。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		支援計画に記載している。契約時に詳しい説明をし、毎日、身体拘束の記録を付けている。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者からの情報を基に対応している。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例が発生した際は速やかに記録し、回覧対応している。また、ミーティングの際、再発をしないように細かい話し合いを行っている。